

平成25年度 防災の日啓発事業

防災訓練を実施しました

町では、毎年10月4日の防災の日啓発事業として、町内会単位での防災訓練を実施しています。

広報中標津10月号でもお伝えしたとおり、今年は以下の町内会と避難訓練、消火訓練、応急手当訓練等を実施し、286名が参加しました。



9月7日(土) 睦町内会



9月15日(日) 第一宮下町内会



9月29日(日) 桜ヶ丘町内会



10月5日(土) 緑町町内会



10月6日(日) 東泉町内会



10月27日(日) 泉町会連合会

平成6年の北海道東方沖地震から19年が過ぎました。災害時には、自分の身は自分で守る自助を中心に、自分だけで解決が難しいことは、周囲や地域と協力して行う共助、行政機関やライフライン各社による公助の連携が必要です。

普段から訓練などを実施し、災害に強い地域にしましょう。

※訓練の様子は、なかしべつ広報日記「カメラウォッチ」(ブログ)にも掲載されています。
(<http://plaza.rakuten.co.jp/nakashibetsu/>)



じゃがいもずきん
「ききぼう」くん

防災ワンポイント 第10回 暴風雪に備えた自助

冬期間の安全対策

これからの季節の災害は雪によるものが心配されます。冬を安全に過ごすため、特に外出先での不測の事態に備え必需品を用意しましょう！

車内備蓄

- ・防寒具(毛布、非常用アルミシート)
- ・スコップ
- ・長靴
- ・上着、手袋
- ・地図
- ・牽引ロープ
- ・懐中電灯
- ・携帯トイレ用品
- ・使い捨てカイロ
- ・携帯食料

常時携行品

- ・携帯電話
- ・携帯電話充電器
(乾電池・充電タイプ)
- ・飲料水
- ・携帯ラジオ
- ・連絡先メモ



また、暴風雪などで車が立ち往生し、救助を待つ間は、次のことに注意しましょう。

- ・不用意に車を離れない(遭難の恐れ)。
- ・一酸化炭素中毒に気をつけ、マフラー付近を除雪する。除雪が困難な場合は車のエンジンを止める。
- ・酸欠を防ぐため、風下の窓を少し開ける。
- ・防寒具を身に付け、携帯電話の電池残量に注意する。

詳しくは、総務課 防災係まで。